

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・国道沿いにパチンコ店とホテルが建設されたので、客が増加する。 ・今月は例年と比べて季節物の先買いをする客が少ないが、実売期にはある程度期待ができる。
	変わらない	衣料品専門店（経営者）	・競合店との競争の激化、原油価格の高騰による生活費の圧迫があるので、良くなる材料が無ければこのような状況がこれからも続く。
		スーパー（経営者）	・コンビニの場合は天候、新商品の開発、競合状況が売上に大きく影響してくるが、この3点に大きな変化が無ければ今月と同じ状況が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・コンビニに加え、24時間あるいは深夜営業のスーパーや量販店の総数が増え、小売業にとってはますます客の分散化傾向が強くなる。古い店舗を閉店し、新しく出店するスクラップ&ビルトで活性化を図れば現状維持が可能と考えられる。半数以上の店舗が10年前後経過しており、世代交代の過渡期とも考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・沖縄では今後も新規出店等が計画されており、オ・ブン店は売れるが既存店の売上は落ち込むと考えられる。収入が上がり、燃料の高騰が収まらなければ、高額商品には手が出し難い。デフレ脱却無くして景気向上は無い。
		家電量販店（従業員）	・観光客の増加はあるが実績は前年並みがやっとの見込みである。那覇の大綱引きと世界のウチナーンチュ大会に期待したい。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・9～10月は、稼働率は前年を若干下回るが、単価は上回るため、売上は前年と同程度になる見込みである。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・良くなる要素も悪くなる要素も見当たらず、横ばいで推移する。ただし、10月末より番号ポータビリティが開始されるので、どう展開していくかは予測できない。
		通信会社（店長）	・沖縄観光は沖縄への好感に支えられ好調を維持している。入域観光客数は前年のような増加は厳しいが、前年同月並みの数字を確保しながら推移する。
観光名所（職員）	・本来なら客が減少するところであるが、対抗策が上手くいって、結果的には前年並みに推移する。		
悪くなる	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・9月以降観光客数が落ち着いてくるし、地元客の来店も減っているのだから苦戦する。駐車場の有無で、居酒屋にもかなりの影響が出ている。	
企業 動向 関連	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-
	やや良くなる	広告代理店（営業担当）	・番号ポータビリティや地上デジタル放送の開始を目前に控え、通信・放送業界全体への注目度が高まり、新たな競争環境も活性化すると想定できることから、クライアント（広告主）の投資も増大する可能性が高い。
	変わらない	コピー業（代表者）	・今年11月は知事選があるので、例年より期待できる。
		建設業（経営者）	・引き合い及び相談件数が減少しているため、2～3か月後に影響する。
	やや悪くなる	輸送業（営業・運営担当）	・引き合い件数が低迷しているため、2～3か月後の受注量のアップが期待できない。
悪くなる	輸送業（営業・運営担当）	・原油高騰は現在も続いておりトラックの軽油などの値上げ要請があって苦しくなっている。さらに、沖縄独自の制度であるふ頭通過料の徴収対象が港運業者や船会社から荷主に変わっているなど、取引先を取り巻く環境の変化などの要因がある。	
雇用 関連	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・バブルのころのユーザーや一度きりの利用だったユーザーからの依頼、また、新規で幅広い分野からの依頼が増えているため、しばらくは派遣の数字は堅調に維持できる。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・求人件数の増加傾向がみられ、景気に対する期待感はある。ただし、求職者数の状況がそれに比例していないのが気にかかる。	
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・2～3か月先の採用予定の求人依頼等をコールセンターなどの大口顧客から受けているが、特にその内容や頻度が変わる要素が見受けられない。	

	職業安定所（職員）	・ 7月の新規求職申込件数は4,787人で、前年同月比で2.2%増加、紹介件数は6,779人で同3.9%増加、就職件数は1,349人で同6.8%増加している。また、月間有効求職者は18,362人で、同5.3%減少、県外就職者は302人で、同25.1%減少している。有効求人倍率は4月から7月までそれぞれ0.55、0.52、0.53、0.59で推移している。県内就職件数が前月比、前年同月比とも増加している反面、県外就職件数の減少が見受けられる。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・ 8月に入り、公共工事が動き出しているが、談合問題の損害賠償金が今後科せられるなどの問題があるので、建設業界等での採用に関しては見通しが立たない。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・ 県外求人数は伸びている。しかし、県内は前倒し傾向が強いので、今後新規に求人数が増加しなければ求人数としてはさほど変化が無いことになる。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-